

平成30年11月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

輸出額は「有機化合物」などは増加したものの、「石油製品」、「半導体等電子部品」などが減少したことから、対前年同月比0.3%の減少となった。また、輸入額は「液化石油ガス」などは減少したものの、「原油及び粗油」、「液化天然ガス」などが増加したことから、同42.0%の増加となった。

これにより差引額は、1,005億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	667億円	▲0.3%	1,672億円	+42.0%	▲1,005億円	+97.6%
	7カ月ぶりの減少		8カ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 有機化合物	60億円	+20.2%	増加品目	(1) 原油及び粗油		804億円	+38.6%
		(2) 鉱物性タール及び粗製薬品	42億円	+32.0%		(2) 液化天然ガス		383億円	+112.3%
		(3) 電気回路等の機器	72億円	+15.1%		(3) 石炭		66億円	+107.3%
	減少品目	(1) 石油製品	28億円	▲44.0%	輸入	(1) 液化石油ガス		27億円	▲25.2%
		(2) 半導体等電子部品	6億円	▲65.2%		(2) 生ゴム		18億円	▲31.2%
		(3) プラスチック	49億円	▲10.6%		(3) プラスチック		14億円	▲23.0%
	地域別動向				地域別動向	増加：中東、中東欧・ロシア等 など			
	減少：西欧、中南米 など 増加：北米 など					減少：アフリカ など			

（参考）ドルレートは、112.99円（前年同月比0.5%、0.55円の円高）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

（注）本資料中の伸率及び増減表記は、前年同月との比較による。